

2023年3月29日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

株式会社ソルテックに投資実行

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役会長 安東 泰志、以下「NHC」）が管理運営する、ニューホライズン4号投資事業有限責任組合（以下併せて「弊社」）は本日付で、株式会社ソルテック（本社 大阪府吹田市、代表取締役社長 塩田 彰、以下「ソルテック」）への投資を実行致しましたのでお知らせします。

ソルテックは、2003年の創業以来一貫して斜面安定工事を手掛け、地域社会の安心安全な生活の創出や社会経済システムの機能維持に寄与して参りました。また優秀な人材の確保に努め豊富な建機を自社保有することにより、品質の高いサービスを適正なコストかつ短納期で提供可能な体制を構築しております。これにより、顧客から篤い信頼を得て、近畿エリアの一次請け工事において大きなシェアを獲得しております。また、近年は業界におけるプレゼンスの向上を背景に、大型案件の受注や他地域からの引き合いが増加するとともに、インフラ整備や技術の移転を目的とした発展途上国における施工機会が増加するなど多様な成長機会にも恵まれ、引き続き業容が拡大していくことが見込まれます。

気候変動の影響による気象災害の激甚化・頻発化、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫、高度成長期以降に集中整備されたインフラの一斉老朽化等の危機に打ち勝ち、国民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持する為、これまで以上に防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化を図ることが求められています。国土強靱化基本計画が閣議決定されて以降、国を挙げて大規模自然災害等に備えた国土の全域に亘る強靱な国づくりを推進しておりますが、道路の法面・盛土の土砂災害防止対策、山地災害危険地区等における治山対策、山地災害危険地区における森林整備対策等、法面工事に関係する強化分野における進捗は道半ばです。今後も防災・減災、国土強靱化を目的とした投資の継続が想定される中、法面工事にかかわる豊富な実績とリソースを有するソルテックには更なる成長が期待できると判断し、今回の投資実行に至りました。

弊社はソルテックの全役職員と一丸となって、組織の充実や経営管理機能の一層の強化等に取り組むことで、同社の企業価値向上に尽力する所存です。

なお、新組織体制としては、代表取締役は塩田彰氏が続投し、弊社から新たに取締役及び監査役数名を派遣する予定です。

〈ニューホライズン キャピタル株式会社〉

事業承継、カーブアウト、成長支援等のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006 年 10 月の会社分割を経て、通算 20 年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,700 億円超）を誇る。現在は、NHC として 6 本目、創業から 10 本目のファンドを運営中。2002 年以來、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとする NHC のチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iae ホールディングス、たち吉、武田産業、GENEROSITY、シバウラ防災製作所、川崎ホールディングス、昭和コーポレーション、ローカルフォリオ、ウィルミナ、ウッドテック、NITTO、日本システムケア、岩田産業、エスエーティ、リードプラス、平世美装、BIQREA ホールディングス、トルクシステム、イデアル、黒姫グループ、AC ワークス、タカフジなど、開示可能なエクイティ投資先だけで 約 50 社、全体では 100 社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先：

広報担当（IFC）竹江、高杉 連絡先：03-5532-8921